

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する 倫理委員会のホームページで公開を希望

URL

承認番号	4115
研究課題名	<i>Enterobacter</i> 菌血症におけるAmpC beta lactamase過剰産生菌のリスク因子に関する検討
研究の意義・目的	エンテロバクター属細菌は染色体上にAmpC型βラクタマーゼ産生遺伝子を有しており、抗菌薬の使用などによりAmpC型βラクタマーゼ過剰産生菌となり、院内感染における耐性菌として検出頻度が上昇しています。今回、エンテロバクター菌血症におけるAmpC型βラクタマーゼの陽性群と陰性群の背景因子を比較して、AmpC型βラクタマーゼ過剰産生菌のリスク因子を同定することを目的として本研究を予定しています。本研究結果により、エンテロバクター属細菌による菌血症に対する詳細な治療戦略を整備することが可能になると考えられます。
研究期間	倫理委員会承認後から2018年12月31日まで
研究対象者の範囲	2011年1月1日～2017年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院で、血液培養検査よりエンテロバクター属細菌が培養された患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療録から個人情報を含めずに各情報を抽出します。 具体的には年齢、性別、診療科、基礎疾患、検出前に使用されていた抗菌薬の種類、血液検査データ、細菌培養検査データです。
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	該当なし
代表施設のURL	該当なし
研究成果を公表する方法	学会発表 論文発表
試料・情報の提供方法	該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学講座 教授 掛屋 弘
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究責任者 掛屋 弘 住所 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-3784 FAX 06-6646-6056 E-mail kakeya@med.osaka-cu.ac.jp